



学校教育目標

自ら学び 心豊かで たくましい 生浜っ子の育成

目指す児童像

- やさしく元気な子
- やる気のある子
- 地域を愛する子

目指す学校像

- 児童が主役の笑顔あふれる学校
- 充実した授業が行われ、子供たちが楽しく学んでいる学校
- 家庭・地域との相互理解・協力により、信頼関係を築いている学校
- 教育環境が整っており、安全・安心で美しい学校

目指す教職員像

- 熱意をもって教育活動に当たる教職員
- 児童理解に努め、一人一人を大切にしている教職員
- プロ意識をもち、自己研鑽に励む教職員
- 家庭・地域から信頼される教職員
- 教育公務員として自覚ある行動がとれる教職員

家庭・地域とのかかわり

- OPTA との連携・取組の充実
- 学校 HP の随時更新、たより配付・配信、すぐーるによる迅速な情報発信
- 地域と共にある学校づくり（地域行事参加・交流 セーフティウォッチャー 地域素材 ゲストティーチャー アフタースクール 避難所運営委員会 等）
- 学校評価に基づいた教育活動の充実（学校評議員 家庭・地域との連携）



R8年度 重点ポイント

- 主体的に活動する子供の育成
- 地域から学ぶ子供の育成
- 子供に寄り添った生徒指導

1 やさしく元気な子

① 思いやりの心の育成

- 児童主体の縦割り活動「生浜キッズ」
- 個々のあいさつのレベルアップ
- あおば学級との交流及び共同学習の充実（個の違いを理解し、学び合う）
- 幼保こ、中学校との交流と連携
- 植物栽培（一人一鉢、年間を通して学年花壇での栽培）
- 地域との交流



② 道徳的実践力の育成

- 週1時間の道徳科の学習の充実
- 学んだことを実践に生かす道徳教育（日常化）

③ 児童の自主性を重んじたボランティア活動の実現

- 主体的に取り組む児童会活動
- 児童の気付きを大切にした児童主体のボランティア活動の実現



④ 自分の命は自分で守る意識化

- 安全な登下校（通学路厳守 横断の際の左右確認）
- 安全な自転車の乗り方（ヘルメット着用推奨 横断時の左右安全確認）
- 危機予測や回避能力の向上

（防犯ベル常時携帯 防災・防犯訓練の早期実施とミニ避難訓練継続による定着化）

⑤ 健康の大切さの理解と実践

- 教科体育の充実（単元意識 課題解決型学習継続 個に応じた指導）
- 実態に応じた体力向上に向けた継続的取組
（体カテスト 体づくり運動 帯活動 マラソン 縄跳び 等）
- 外遊びの日常化
 - ・ ロングサンプタイムの学級遊び
- 特設部活動の活性化（無理なく継続できる練習時間確保）
- 基本的な生活習慣の確立
 - ・ 早寝・早起き・朝ご飯 登校時刻厳守
 - ・ 姿勢（適正な机・椅子の高さ調節）
 - ・ 生浜スタンダードの活用
- 食育の工夫（バランスの良い食事摂取への意識化、給食残菜の減少）

生徒指導の充実

- 学級・学年活動の活性化
- 問題行動の抑制
 - ・ 善悪の判断と正しいと思う行動の実践力の向上
 - ・ いじめを許さない雰囲気醸成
 - ・ レジリエンス力（困難な状況から立ち直る回復力）の向上
- いじめの早期発見、早期対応と組織的な対応
- 特別な支援が必要な児童や不登校児童への組織的な対応

2 やる気のある子

① 自ら課題をもち、自ら学び、最後までやりぬく態度の育成

- 課題解決的な学習の学び方定着
- 指導と評価の一体化 振り返り重視・継続
- 児童の努力・成長を認める評価の蓄積
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 交換授業の積極的取組（学年担任の意識化 負担軽減）



② 個別最適な学びの保障

- 個に応じた課題の設定
- ICTの有効活用

③ 協働的な学びの工夫

- 小グループ、ギガタブ活用等の学習形態の工夫
- 思考ツールの活用



④ 学び方の定着

- 発達段階に応じた学習の進め方の工夫
- 生浜スタンダードの定着
- 家庭学習の習慣化（個の関心・意欲を大切にして計画的に無理なく）

⑤ 読書の習慣化（朝読書 読書の時間確保 読み聞かせ 等）

⑥ 読み書き・計算力の定着

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着（ドリルタイム チャレンジタイムの計画的実施 週案明記）
- ギガタブの有効活用（ドリルパーク 等）
- 個に応じた指導の工夫（家庭との連携）

⑦ 学習したことを生かす表現力の育成

- 「話す・聞く」態度の習慣化
- 言語活動の充実
- プログラミング教育の推進

⑧ SDGsを意識した教育活動の展開

- SDGsへの継続的取組（知り 考え 行動する）



チーバくん
ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 416号

3 地域を愛する子

① 学校や地域のよさを知り、地域の人から学ぶ態度の育成

- 学習フィールドとしての地域素材の積極的活用（開発・継続）
 - ・ 地域のよさ、伝統や文化、福祉、環境 等
- 地域・保護者の人材活用（学習ボランティア ゲストティーチャー）交流深化
- 地域とのつながりを重視したキャリア教育の推進

② 年長者に感謝の気持ちをもち敬う心情の育成

- 支えてくれる人々に気付き、感謝の念をもつ・伝える（地域の人々 セーフティウォッチャー 昔遊び講師 等）
- 地域行事への積極的参加を通じた年長者との交流

